

「未来を、より楽しく、よりよいものにする」キャンペーンで世の中に「いいね!」を形に残す  
～トヨタのハイブリッド「アクア」が目指す共成長マーケティング『AQUA SOCIAL FES!!』

(株) トヨタマーケティングジャパン

### ① AQUA SOCIAL FES!!とは?

AQUA SOCIAL FES!!は(株)トヨタマーケティングジャパンが、トヨタ自動車のコンパクトハイブリッドカー「AQUA」のプロモーション活動として、全国47都道府県の地方新聞社・NPOなどの活動団体と連携し、全国各地で水辺を守る活動を展開するキャンペーンです。活動内容は、川清掃、海岸清掃、水環境を守るための植樹、稲刈りなど多岐に渡ります。これまで年間で100回以上開催、1万人以上の参加を続け、2012年～2015年の4年間で累計開催回数440回以上、累計参加人数は4万5千人を突破しています。

**AQUA  
SOCIAL  
FES!!  
2016**

みんなとだから、できること。

ASFロゴ



参加者写真

### ② AQUA SOCIAL FES!!が生まれた経緯

トヨタのコンパクトハイブリッドカー「AQUA」は「次の10年を見据えたコンパクトカー」を目指し開発されました。これまでにない低燃費と低価格でより多くの方々にハイブリッドカーを知っていただき「楽しくよりよいクルマ社会」の実現を目指しています。

一方で震災以降、人々のあいだで、年代を問わず、「社会のために役に立ちたい」「よりよい未来をつくりたい」という意識や気持ちが急速に芽生えていると言われています。



参加者写真

そこで、アクアの開発に向けた想いと、こうした人々の意識や気持ちを重ね合わせて、クルマを知り、選んで頂くだけでなく、日本全国でそれぞれの地域をより良い方向に、地道に変えていくキャンペーンの実施を考えました。

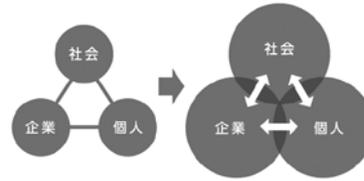
このキャンペーンによって、アクアというクルマが提供する楽しいカーライフだけでなく、地域社会や環境などを含めた広い意味で「あしたの『いいね!』」をつくっていきたい。結果的にアクアの想いを共有し、多くの方にアクアのファンになっていただきたい。全国各地にさまざまな「いいね!」を形として残したい。

そうした想いからAQUA SOCIAL FES!!が作られました。



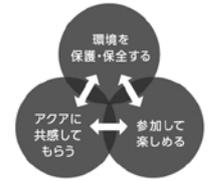
AQUA

【 共成長マーケティングの構造 】



社会と企業と個人の協業（コラボレーション）によって  
3者みんなが成長する

【 AQUA SOCIAL FES!! の構造 】



共成長マーケティングの図

2011年12月26日

新型車アクアの発売にあわせて、  
水をテーマにした自然環境をまもるアクションプログラム  
「AQUA SOCIAL FES!! みんなとだからできること。」をスタート  
～企業と社会と個人が共に成長することを目指す「共成長マーケティング」への挑戦～

トヨタ自動車㈱(以下トヨタ)は、新型ハイブリッド車「アクア」の発売にあたり、一般参加型の新しいプロモーション「AQUA SOCIAL FES!! (アクア ソーシャル フェス)」を全国道府県で順次展開致します。

アクアは、「次の10年を見据えたコンパクトカー」を目指し、これまでにない低燃費と低価格を実現。今までより幅広い方々にハイブリッドカーを楽しんでいただくための未来のスタンダードとなる商品として開発されたクルマです。

新発売キャンペーンでは、「あしたの「いいね!」をつくるんだ。」というキャンペーンスローガンのもと、アクアをより多くの人に買っていただくこと、そして、アクアの開発の想いをより多くの人に伝えることをミッションとして、アクションプログラム「AQUA SOCIAL FES!!」を開始します。

具体的には、アクアの車名にちなみ、「水」をテーマとした地元で自然環境を保護・保全する地域社会貢献活動を実施します。外部有識者の監修のもと、各地のメディア、NPOなどと連携し、全国50か所で地域の皆様とトヨタが、一緒に汗を流すプログラムです。なお、アクアは各地で作業のサポート役として使用されます。

このプログラムは、企業の「商品プロモーション」と「社会貢献活動」の両立であり、さらに、参加されたお客様個人も楽しんでいただける活動です。企業・社会・個人が共に成長する。いわば「共成長マーケティング」を目指しています。そして、これこそが、あしたの「いいね!」をつくるためのチャレンジであると考えています。

【 AQUA SOCIAL FES!! 実施概要 】

- 名称： AQUA SOCIAL FES!! (アクア ソーシャル フェス)
- 実施時期： 2012年3月から(2011年12月26日より、一部参加者募集中)
- 実施地域： 全都道府県50か所  
※活動詳細・各地の実施概要は別紙
- テーマ： 「水」
- アドバイザー： 慶應義塾大学教授/NPO法人 観音川流域ネットワークینگ 代表理事 岸 由二  
一般社団法人Think the Earth 理事/プロデューサー 上田 社一
- ウェブサイト： ホームページ <http://aquafes.jp/>  
facebookページ <http://www.facebook.com/aquafes>
- 参加に関するお問い合わせ先： 「AQUA SOCIAL FES!!」事務局(コールセンター)  
TEL: 0120-033-213  
※平日9時～18時(土日祝日及び年末年始12/28～1/3除く)

<本発表内容に関するお問い合わせ先>  
「AQUA SOCIAL FES!!」報道関係事務局 担当：下山  
TEL: 03-5565-6772 / FAX: 03-3546-0432

リリース資料

③ AQUA SOCIAL FES!!の特色① CSRではなく、広告費を使ったプロモーション活動

この活動は、企業のCSR活動ではありません。アクアの「広告費」を用いて活動しています。

これは、企業の「商品プロモーション」と「社会貢献活動」の両立であり、さらに、参加されたお客様個人も楽しんでいただける活動です。我々は、この社会・個人・企業がそれぞれWIN-WINの関係で結ばれたマーケティング手法を「共成長マーケティング」と名付け、新しいマーケティング手法として取り組んで参りました。CSR活動ではなく、「プロモーション活動」の一環として社会貢献活動に取り組むことは、日本の「マーケティング活動」「環境保全活動」両面で新しい取り組みであり、多くの皆さんにこの理念に共感頂いたおかげで、今年で5年目を迎えることが出来ております。

④ 特色② 全国47都道府県で年間合計100回以上開催、各地のイベントで真に地域の課題解決になる活動を実施

この活動は、全国47都道府県にある地方新聞社様と連携し、現地のNPOをはじめとした環境活動を行う団体様とともに、それぞれのイベントを企画・実施しています。

4年間で全都道府県、最低2回以上開催し、過去4年間で400回以上の開催実績があります。

しかし、数だけであれば、AQUA SOCIAL FES!!よりも、長く、沢山の回数を重ねているものは存在しています。AQUA SOCIAL FES!!の特色は、広さだけでなく深さにあります。

通常、全国規模で環境保全を行おうとした場合、「東京⇒地方」というトップダウン型になってしまい、活動自体が画一的になり、本当に地域の為になる活動がしづらくなります。

AQUA SOCIAL FES!!は、地方新聞社様と連携することで、真に地域の為になる活動ができる体制を構築しています。地方新聞社様は、古くから日々地域に密着した取材を行ない、記事を毎日執筆されています。この地方新聞社様が日々の取材で培った情報網を生かして、真に地域の為になる活動や、活動団体様を見つけ出すことが出来ております。

また、地方新聞社様は日々地域に根付いた活動をしているため、地域の皆様、地域行政や大学など、地域のステークホルダーの皆様からの信頼は絶大です。

地域からの信頼が厚い地方新聞社様と連携することで、団体様とのイベント構築はもちろん、行政の方や、学生の皆さんとの連携も取りやすく、活動自体の幅が広がっています。

### ⑤ 特色③ 社会貢献活動＝「正しい」ことを「楽しい」活動にするプログラム作り

通常、社会貢献活動＝「正しい」活動ではあるものの、反面、「真面目」、「とっつきにくい」といったハードルが存在していると思います。

一方、先述の通りAQUA SOCIAL FES!!はCSRではなく、企業のプロモーション活動であり、より多くの様々な人たちに参加をしてもらう必要があります。

そこで、より多くの方にこの活動に参加して頂くために、お揃いのビブスを着用し、タオルや軍手を配布したり、統一感のあるテントやフラッグを用意したりと、「正しい」だけでなく、「楽しく」活動ができるようなプログラム作りを行っています。「楽しく参加できそう」と地元の方に思ってもらうことにより、活動に参加するうえでの心理的なハードルを下げるのが狙いです。

実際に参加した方へのアンケートでは、「もう一度参加したい」と答えた人は90%以上、「この取り組みをほかの方にも伝えたい」と答えた人も90%以上という結果になっております。

「正しい」ことを「楽しく」活動できるプログラム作りが参加者の方にも受け入れられている成果だと認識しています。



キットの写真



集合写真

### ⑥ 活動通じて得られた成果や評価

環境面では2012-2015年の4年間でゴミ143.7トンや、ヤマメの放流64,800匹、外来種のアレチウリ5850m<sup>2</sup>分駆除など全国各地で成果が出ていますが、それとは別に、AQUA SOCIAL FES!!ならではの得られた成果が大きく2つあります。

<多くの人に地元への関心を持つきっかけが提供できたこと>

社会貢献活動への心理的なハードルを低くし、今まで社会貢献活動になじみのない多くの人にこの活動に参加してもらうことを目指した結果、4万5千人以上の方参加して頂きましたが、人数だけでなく、活動に参加した人へのアンケート結果では、参加者の約9割が活動により「地元への関心が高まった」と回答しています。

地元の水環境を保全するためには、普段から活動している人だけでなく、地域に住む皆様が、自分たちの地元へ関心を持つことが第一歩です。

この第一歩を踏み出す機会を多くの方に提供できたことが一つ目の大きな成果です。

<全国でひたむきに活動する活動団体様に光を当てることができたこと>

各地域では、誰に言われるでもなく、ひたむきに活動を積み重ねている団体様が沢山いらっしゃいます。

しかし、団体様それぞれに、人材不足や活動資金など様々な問題を抱えています。

今回のAQUA SOCIAL FES!!の取り組みは、トヨタが地方新聞社様を通じて支援をすることで、資金面での援助はもちろんですが、何よりも、多くの人に参加することで団体様の認知が広がり、活動に興味を持ってもらうきっかけになることができました。

現に、AQUA SOCIAL FES!!がきっかけで、問い合わせが増えるなどの事例も沢山あり、さらには、実際に参加者が活動団体に加入したという報告もあります。

### ⑦ AQUA SOCIAL FES!!の新しい兆し

参加者そして団体様との成果だけでなく、ここ1、2年で新たな成果が出てくるようになりました。

それは、AQUA SOCIAL FES!!が「地域課題の受け皿」として機能していることです。

様々な地域のステークホルダーがそれぞれの課題に対して、AQUA SOCIAL FES!!を活用しようとして下さるようになりました。

いくつか地域のステークホルダーの皆様がAQUA

SOCIAL FES!!を活用して下さっている事例をご紹介します。

#### <大学や専門学校での活用>

複数の地域や大学・専門学校で、単位がもらえるボランティア活動のひとつとして、AQUA SOCIAL FES!!に参加したり、エリアによっては活動の企画・運営を学生の皆様が行っているところもあります。

地域の自然を守るという地域貢献の一環としてAQUA SOCIAL FES!!を活用して下さっていることはもちろんですが、もう一つの効果として、「普段出会わない人と交流できる」という利点もあることがヒアリングの結果から見えてきました。

地域に住む小さな子供、他の学校から来た学生、サラリーマンの方、さらには、お年寄りまで多くの方がこの活動に参加します。学生が普段の活動の中で出会うことが少ない人と活動を共にすることで交流できることも、活用頂く大きな理由になっています。

#### <企業での活用>

AQUA SOCIAL FES!!はトヨタという一企業が行う活動ですが、地域の様々な他企業が地域貢献活動の一環としてこの取り組みに参加して下さっています。

地域の企業の方々も地域貢献活動をしたいというニーズはあるものの、準備や装備など様々な面でハードルがあります。AQUA SOCIAL FES!!は、軍手・タオルを無料で配布し、参加費は無料の為、地域に貢献したい企業様にとって活用しやすい活動になっています。

#### <自治体での活用>

地域の自治体では、多くの人出が必要で、地域住民の協力が必要な課題がありつつも、活動が出来ていないものが沢山あります。

AQUA SOCIAL FES!!では、地域の自治体と連携し、地域住民の協力が必要な課題をAQUA SOCIAL FES!!として活動しているエリアもあります。



学生写真

また、直接活動に関係が無くても、地元でPRしたいこと、知ってほしいことを実際のイベントの中で、自治体の方から直接地域住民に伝えられる場として活用頂くこともあります。

このように、単なる環境活動の取り組みを超えて、AQUA SOCIAL FES!!は地域の様々なステークホルダーの皆様の課題を受け入れる受け皿になりつつあることが最近になり、分かってきました。

我々としては、こうした地域の方々課題を真摯に受け止めながら、より多くの方がこの活動に参加し、さらに、地域に根付く活動にしていきたいと考えております。

### ⑧ 今後に向けて

<長く継続することで、より多くの人に参加して頂く>

これまでの4年間の取り組みは、参加者の方から、そして団体の皆様、地域のステークホルダーの皆様から高い評価を得ることができました。

一方、環境面での課題は、地域にまだ無数に存在しており、ひたむきに活動をしながらも存在を知られていない団体様が沢山いることもまた事実です。AQUA SOCIAL FES!!はこうした現実を踏まえて、出来る限りこの取り組みを継続し、より多くの人に参加して頂くことで、地域の環境への貢献をしていきたいと考えております。

<地域課題の受け皿となることで地域により貢献する>

また、新たな兆しとして見られる受け皿としての機能はAQUA SOCIAL FES!!が地域の皆様にとって貢献できる大きな可能性を秘めていると考えております。こうした活用方法をより多くの人に発信し、より多くの人にAQUA SOCIAL FES!!をご活用頂きたいと考えております。

<地元トヨタ販売店との連携を深め、より地域に根付いた活動にする>

最後に、トヨタは全国47都道府県すべてに200社以上、5000店舗以上のトヨタ販売店があり、それぞれに地域に根差したお店作りを行っております。

地域のトヨタ販売店が、より地元の皆様と連携を深めることでより地域に根付いた活動にしていきたいと考えております。

(株)トヨタマーケティングジャパン